

プロジェクト報告書

団体名 特定非営利活動法人 あすみ会

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

『銀粘土で生み出そう、みんなのやりがいと地域の輪』プロジェクト

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

知的障害者の働く福祉作業所の仕事内容は、企業からの受注作業(袋詰め・箱折)などが占める割合が多く、時間と労力の割に単価が低く、また景気に左右されやすいリスクもあり、利用者の工賃アップにはなかなか結び付きません。どの作業所においても、利用者の工賃アップは大きな課題です。NPO 法人あすみ会では、4月1日から作業所「カンタービレ」を開所しました。新規開拓が難しく、不安定な受注作業だけではなく、魅力ある自主製品の開発を目指していました。アートクレイシルバー講師との出会いにより、直接指導・材料の安価な材料の仕入れが可能になり、銀粘土を使用したアクセサリーの制作・販売を行い、利用者の工賃アップを目指します。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

知的障害者福祉作業所「カンタービレ」では、作業内容の一つとして、アートクレイシルバー講師による指導のもと、銀粘土を使った純銀アクセサリーの制作を行います。出来上がった作品は自主製品として作業所で直接販売するだけでなく、将来的にインターネットでの販売も展開し収益を上げる努力をし、利用者の工賃アップを目指します。また、作業所を会場として、地域の方向けにアートクレイシルバーの体験会を開催し、アートクレイの基本技術を取得してもらおうと同時に地域の方に作業所の事を知ってもらい、実際に「カンタービレ」でのボランティアに参加してもらえるようになるなど、利用者とは触れ合うきっかけ作りをしています。

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

全員新規利用のため、他の作業での様子も含め、利用者の様子を2ヵ月ほどかけて確認し、「出来ること」「必要な支援」の洗い出しを行いました。6月に職員向けに「講習会」を行い、作業内容の確認を行いました。7月に利用者対象の体験会を行い、試作品を販売したところ完売となりました。10月に一般向けに「講習会」を行い参加者6名が集まりましたが、ボランティアに繋がりませんでした。12月に賛助会員向けに「講習会」を行い、うち2名がボランティアとなりました。1月以降、利用者をサポートして頂いています。今後、完成したアクセサリーは、福祉作業所販売会等で販売し、量産が可能になればネット販売を行います。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

地域の方との交流の期待を込めて、アートクレイシルバー講習会を行いました。講習会自体は人気がありましたが、作業所でのボランティア内容がイメージし難かったようで、一般の方には定着しなかったことが反省点です。今後は、何を手伝ってほしいのかを明確にする必要を感じました。アクセサリー販売では、いくつか試作品を販売した結果、公園で採取した葉を転写する技法の作品の売れ行きが良く、当面は品目を絞って作成します。利用者も想像以上に作業を頑張ってくれました。今後も地域の方が作業のサポートに入って頂けるよう工夫していきます。販売収益アップは利用者の工賃アップに繋がるため、来年度はより魅力ある作品の開発、販路拡大をしていきます。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり

特になし



<利用者さん、ボランティアさん、職員で、焼成した銀粘土の磨き作業をしています。>



<磨いた銀粘土に、穴をあけています>



<ピカピカに磨き上げます>



<自主製品で販売するので、講師のチェックは厳しい！>



<ピカピカの鏡面仕上げの完成です>



<右側が梨地仕上げです>



<いぶし仕上げです>

※完成した銀粘土製品を、ボランティアと職員でシルバーアクセサリーに加工し、自主製品として販売しています。